

# 肉体フリーは ストレスフリーか？

2020/9/18 キコニアDiscordサーバー 演題者：なごみ

# 本日の内容

- 本演題の前提
- ストレスの基礎知識
- 肉体不要論がジェイデンに与えるダメージ
- ジェイデンは「救われるべき人物」か？

# 本演題の前提

# 一人称視点の確かさ

- 「キコニアのなく頃にPhase 1」の地の文や一人称視点に意図的な嘘は含まれていない
  - 「ひぐらし」の雛見沢症候群は主観の歪みであり意図的な嘘ではない
  - 「うみねこ」の魔法は犯人側しか使えない  
= プレイヤーの席≡謎を解く読み手を前提としていないなら幻想描写が生じる条件を満たしていないのでは？

# 後天的多重人格

- 現在は「**解離性同一性障害**（DSM-5）」
- 主症状は**解離**
  - ストレスフルな経験を忘れることで精神を守る防衛機制
  - うみねこで八城十八が自分の出自を忘れたのも**解離**の一種（解離性健忘）
  - 一般的に情報処理能力が低下する
  - 主人格は別人格の存在を知覚できない

# 解離性同一性障害とガントレットナイト

- ガントレットナイトのP3値は並列思考の得意さを示す
- 解離性同一性障害において、人格同士の協力による並列思考は不可能
  - 「解離性同一性障害により人格が増えること」は並列思考能力の向上には寄与しない
- 「解離性同一性障害になることでガントレットナイトの適性を高められる可能性」は低い

# 本演題の前提

- 「キコニアのなく頃に Phase1」の一人称視点に意図的な嘘は含まれていない
- ガントレットナイトはCPPでない場合、記憶の欠如などが生じている描写がなければ単一人格者である可能性が高い



# ストレスの基礎知識

# ストレスとは

- 一般的に「ストレス」と総称されるものには 原因と結果が混在している
- 原因：ストレッサー
  - 例：「友達にメッセージを送ったけど既読スルーされた」
- 結果：ストレス反応
  - 例：「血圧の上昇」「悲しい・腹立たしい」「過剰な気晴らし・逃避」

# ストレス・モデル

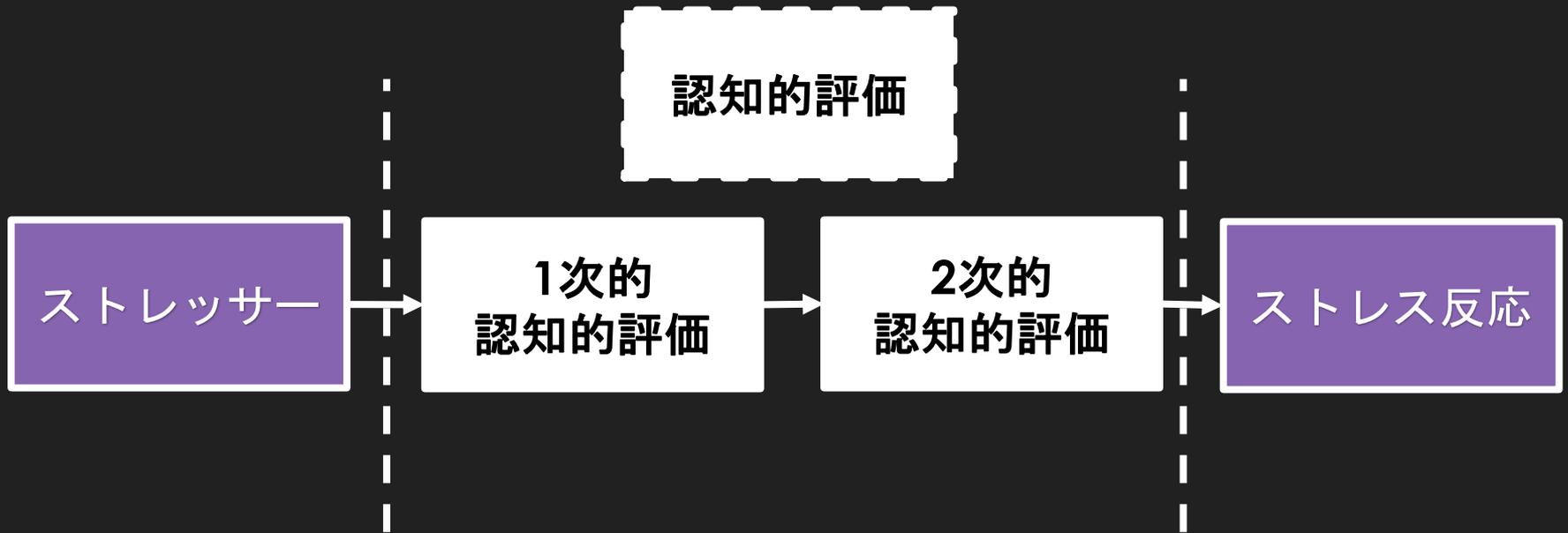


Figure 1. ストレス・モデル (Lazarus & Folkman, 1984 をもとに作成)

# ストレス反応

- 身体的ストレス反応
  - 「血圧の上昇」
- 心理的ストレス反応
  - 「悲しい・腹立たしい」
- 行動的ストレス反応
  - 「過剰な気晴らし・逃避」



肉体不要論が  
ジェイデンに  
与える  
ダメージ

# なぜジェイデンに注目する 意義があるのか？

- CPPは「心理学的解釈に限界がある」
  - 行動の一貫性が保証されない
- 全登場人物の中で唯一「CPPではない」と明示されているのがジェイデン
  - 記憶の欠如など解離性同一性障害を示す描写もない

ジェイデンの行動や発言の矛盾はすべて  
単一人格説で解釈可能

# ジェイデンについて考えた感想

- 「ジェイデンわからん」
- 「こいつ本当に単一人格？」
- 「めっちゃめっちゃ爆弾仕掛けて立てこもったりしそう」

# 周囲からの評価と自己評価の解離

- “【ギンヒルド】「まったく悩まないジェイデンと比べて、どちらが人間らしいかは議論の余地がありますが」”（キコニアPhase 1第15章『騎士団結成』）
- “【都雄】「大して悩みのなさそうなヤツがよく言うぜ」”（キコニアPhase 1フラグメント9『地震復興クジ』）
- “【ジェイデン】「ま、まあなっ。オタクとかって、ね、根暗そうだしよ……?!」”（キコニアPhase 1第7章『三人の王』）
- “【ジェイデン】「俺、カッコ付けたくて大嘘ばかり吐いてた。俺、ゲームとか大好き。漫画も大好き。休日は朝から晩まで引き籠ってるクソオタクでございますっ」（キコニアPhase 1第7章『三人の王』）  
→自分自身がオタクであるうえで「オタクは根暗そう」と言っている
- “【ジェイデン】「うっせえ。どーせ俺は見た目だけの、コミュ障の残念イケメンだよ」”（キコニアPhase 1第9章『モンスターパーティ』）

# 周囲からの評価と自己評価の解離

都雄・ギューンヒルドのジェイデン評：  
「悩まない気楽なやつ」

ジェイデンの自己評価：「見た目が  
イケメンなだけで根暗でコミュ障」

# 自分の感情を知覚することの困難

- “【ジェイデン】「あー……そうか。……下げて下げて下げての最後の、上げてのフォローが今日はなかったから、俺はこんなに凹んでるのか”（キコニアPhase 1第4章『パラレルプロセッサー』）
- “【ジェイデン】「おいおい……。 ナーバスになり過ぎだな、俺。こんなとこまでぼんやり歩いて来ちゃったのか”（キコニアPhase 1第4章『パラレルプロセッサー』）

# 貧弱な空想力

- “何の競技かはわからないが、とにかく、圧倒的なスコアで世界記録を制した。そういうシチュエーションのようだった。”（キコニアPhase 1フラグメント1『仮想体験発表会』）
- “優勝カップの授与！ 最高の栄誉の瞬間だ！！ そして、そのカップの中には、1本のエネルギーバーが、”（キコニアPhase 1フラグメント1『仮想体験発表会』）

# 刺激を求めるストレス対処

- “【ジェイデン】「ふううー！ サンキューサンキュー！ 応援ありがとう！」  
やっぱりいい気分だぜ。ゲーセンに来て良かった。やっと、モヤモヤしていた気持ちが晴れてきた。”（キコニアPhase 1第4章『パラレルプロセッサー』）
- 落ち込んだとき、**大勢の人に褒めて貰うという強烈な刺激**でようやく気が晴れている

# 疑える疾患： アレキシサイミア（失感情症）

1. 自分の感情を知覚することの困難
2. 貧弱な空想力
3. 内省より刺激に結びついた外的な事実へ関心が向かう

# アレキシサイミアと共感能力

- 共感は“**自分自身の感情をベースにして**他者の感情を想像する”行為（乾, 2018, p. 58）
  - 自分自身の感情に対する気づきに困難を抱えているなら他者に対する気づきも苦手
- ジェイデン自身は幾度となく都雄やミャオの意見に合わせようと試みている。「ザツで気が使えない」のではなく「**真剣に考えてもわからない**」可能性が高い

# アレキシサイミアと脳

- 脳の**大脳新皮質**の一領域である“**前島の活動低下**”が示されており、脳の疾患とされている (Hogeveen et al., 2016)
- “その後の検査で、脳内生成物質及びその受容体に特異な傾向が確認される” (キコニア Phase 1 『キャラクター紹介』より)

# アレキシサイミアと嗅覚

- 嗅覚は大脳新皮質での処理機能の低下が影響しにくい
- 嗅覚皮質は大脳辺縁系という本能を司る部位にて処理がおこなわれる（三輪，2015）  
→ **クンカクンカ**は無意識におこなわれた  
本心は肉体性別を気にしていないことのあらわれか？  
（「ミャオに惚れたので態度が変わった」という判断自体もスタニスワフの言である）

# ジェイデンの幼少期

「肉親がいない工場生まれ」かつ天才＝  
「兄弟からさえ妬まれて孤独」

アレキシサイミアは「孤独に対する苦痛」にも「他者への共感による苦痛」にも悩まずに済む＝**適応的な脳の反応**

# 現在のジェイデンは？

- “実は、さっきからキズナはOFFにしていた。そうでないと、ナーバスな気持ちの時だろうと、どん底に沈んだ気持ちの時だろうと、容赦なくフレンドがコミュニケーションに来てしまう。”（キコニアPhase 1 第4章『パラレルプロセッサー』）

× 「悩まない」

○ 「悩みに気付きにくい」 + 「気付いても他人には見せない」

# なぜ「悩みを見せない」？

- 【ジェイデン】「都雄ちゃんだって、俺に会うまでは、だいぶギスギスしたヤツだったって聞いているぜえ？」  
【ギュンヒルド】「そっくり同じことがジェイデンにも言えますです」（キコニアPhase 1フラグメント1『仮想体験発表会』）
- 【ジェイデン】「ニュースでは、また戦争になるかもしれないなんて、暗い話ばかりだけど。だからってこっちまで暗くなってたら、世界は真っ暗になっちまうもんなっ”（キコニアPhase 1第9章『モンスターパーティ』）

都雄との出会いが転機で「ギスギスした暗いところ」を見せなくなった？

# No more, 肉体不要論

- アレキシサイミアの人間がストレスサーを感知する手がかりは「身体」か「行動」
- 身体的ストレス反応：肉体の存在によって初めて認識可能
- 行動的ストレス反応：データでは「無意識の行動」が生じにくい

感情の知覚が麻痺した人間にとって肉体を失うことはまさに「地獄」



ジェイデンは「救われるべき人物」か？

# ジェイデンの特徴

- 相談下手
- 自らの印象を他者にごまかすことができる程度には賢い
- 印象と人物像にいちじるしいギャップがある
- 思考が「舞台となるコミュニティ」から非可塑的な悪影響を受けている
- 金銭には恵まれているが人に恵まれない
- OPや冒頭のバトル場面において「青」

「なく頃に**第二主人公**」では？

# 過去作のなく頃に

- 「正義感の強い**第一主人公**」が「悩みを抱えた**第二主人公**」の真意に気づき「**第三主人公**」が触発されて最善を尽くす
- **第二主人公**の最たる共通項「悩みを抱えていても相談できない」
  - レナ：疑心暗鬼により他者に援助を求め適切な手段を取れない
  - ベアト：自分自身の悩みをみすぼらしいと感じていることで援助を求めること自体ができない

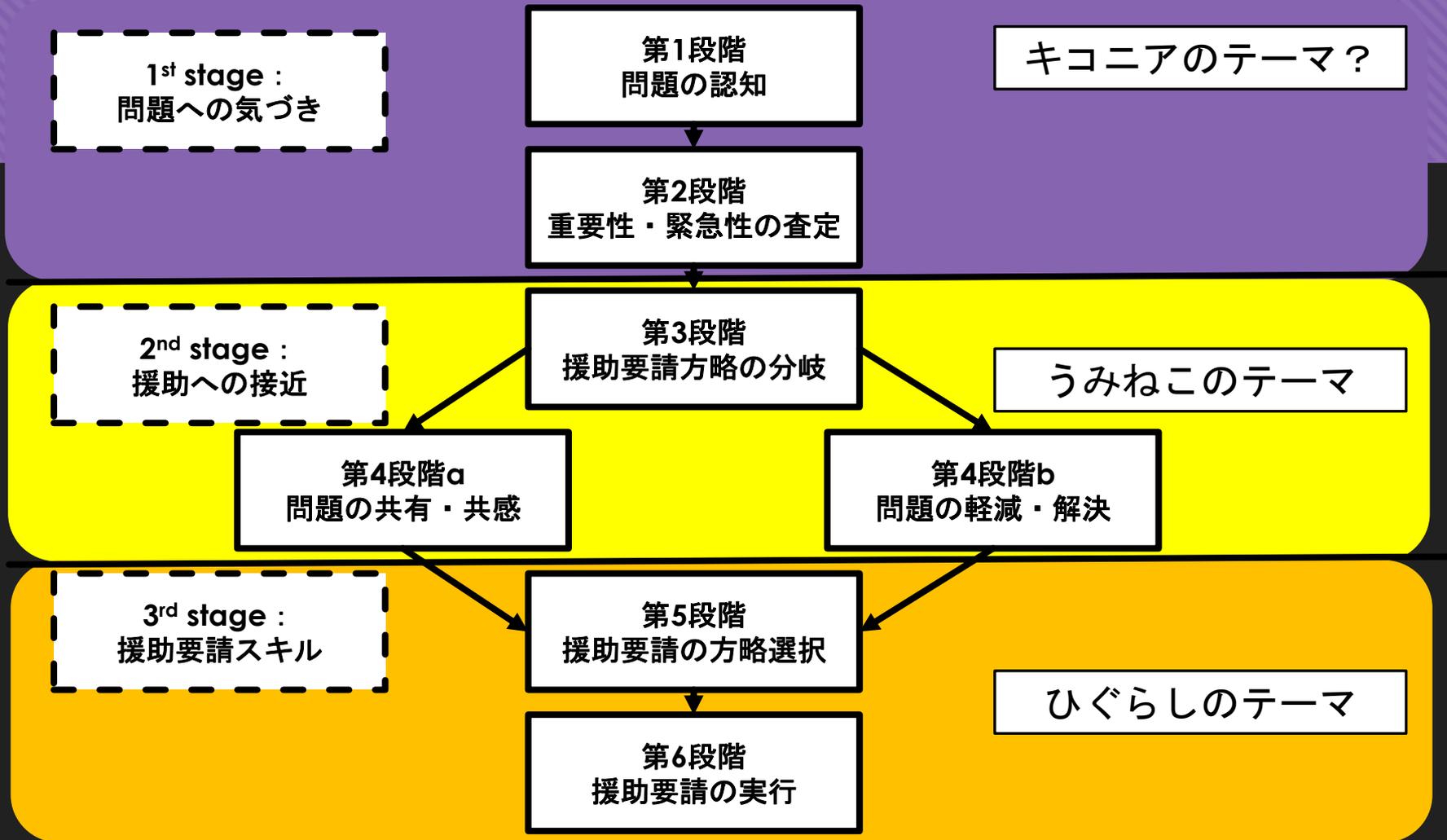


Figure 2. 相談スキルの3段階（高木，1997をもとに作成）

## 2人の主人公の「悩み」と「長所」

- ひぐらし：レナの援助要請スキルの低さによる学校爆破を圭一が「説得」によって解消  
→口先の魔術師 vs 疑心暗鬼
- うみねこ：ベアトの援助への接近の困難による六軒島爆破に戦人が「共感」をよせる  
→チェス盤をひっくり返す vs 魔法
- キコニア：ジェイデンの抱える困難は問題への気づき、都雄は僚機「観察」が得意

肉体を失ったら「観察」も不可能  
No more, 肉体不要論！

# 補足資料



- キコニアにおける心理学の重要性
- 都雄のジェイデンに対する「不義理」
- ジェイデンはそもそも「女好き」なのか
- CPPの解釈
- おまけ：Last noteの4人全員共犯説

B5版96ページ『地獄の底をのぞいたら』  
07<sup>th</sup> Party 7・ペロクンカ騎士団にて頒布予定です

# 引用文献

- Hogeveen, J., Bird, G., Chau, A., Krueger, F., & Grafman, J. (2016). Acquired alexithymia following damage to the anterior insula. *Neuropsychologia*, **82**, 142-148.
- 乾敏郎 (2018) . 感情とはそもそも何なのか：現代科学で読み解く感情のしくみと障害. 京都：ミネルヴァ書房.
- Lazarus, R. S., & Folkman, S. (1984) . Stress, appraisal, and coping. NY: Springer Publishing Company.
- 三輪高喜 (2015) . 嗅覚の低下が思わぬ災いをもたらす. *ファルマシア*, **51**(2), 125-129.
- 高木修 (1997) . 援助行動の生起過程に関するモデルの提案. *関西大学社会学部紀要*, **29**(1). 1-21.